

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所なんくるみいたち				公表日	2026年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・指定基準のスペースを確保している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・指定基準のスペースを確保している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・施設内（生活空間など）はポスター等で視覚化し、分かりやすい環境を心がけている。	・施設が不備な部分は、職員で修繕中。引き続き、施設内（生活空間など）は視覚化し、子ども達に分かりやすい環境を提供していく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・清潔で、心地よく過ごせる環境を整えるよう環境整備を毎日行っている。	・整理整頓や、定期的におもちゃの消毒等を行いながら清潔を保つようにする。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・状況に応じて個別の部屋を使用できるような環境を整えている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・申し送りや全体ミーティングを行い、情報共有している。また、研修受講でスキルアップを図っている。	・業務改善にPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を取り入れ、全職員が参画しやすいような仕組みづくりに取り組んでいく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・アンケートを配布し、保護者の意向を把握し、業務改善へと繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・申し送りや全体ミーティング、個別の業務日報などで、業務改善を図っている。	・勤務時間が個々で異なっているため、今後はICTを取り入れながらMTGを行い、意見交換をしていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・定期的に相談支援事業所との評価をふまえたうえで、業務改善に繋げている。	・第三者委員会の設置はないが、相談支援事業所や外部（関係機関）の評価をふまえたうえで、業務改善に繋げていく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・年3回の社内研修と専門的な研修を開催。また、外部研修に積極的に参加している。 ・社内研修を定期的に行っている。 ・リタリコ研修動画を活用し、職員の資質向上に繋げている。	・引き続き、研修等を通じ、職員のスキルアップに取り組む。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページにて公開している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・職員間で情報共有、意見交換の時間を設け、放課後デイサービス支援計画・評価を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・申し送りの際、職員間で情報共有、意見交換の時間を設けている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・申し送りで放課後デイサービス計画を共有し、計画に沿った支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・医療機関で受けた発達検査結果を活かし、保護者の情報も踏まえ、児童の全体像の把握や支援計画立案の参考にしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・支援すべき内容に沿って、計画を作成している。			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・申し送り、全体ミーティング等で子どもの情報を共有しながら、職員で話し合いを行っている。	・個々の役割を把握しながら活動プログラムに取り組んでいく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・申し送りと全体ミーティングで、振り返りシートを活用して、行事の見直しを行っている。	・個々の役割を把握しながら活動プログラムに取り組んでいく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・子どもの特性や状況に応じて、個別と集団を組み合わせ、放課後デイサービス支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・申し送りで、その日の内容や役割分担の共有し、支援を行っている。	・勤務時間が合わせにくい場合、ICTを利用して申し送りの時間を作っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・申し送りや全体ミーティングで、支援の振り返りや気づいた点の共有を行っている。	・勤務時間が合わせにくい場合、ICTを利用して申し送りの時間を作っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々、活動記録の記入を行い、検討・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・計画の中間評価を定期的に行い、必要に応じて、計画の見直しを行っている。	・引き続き定期的に見直しを行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・放課後デイサービスガイドラインに沿って「4つの基本活動」を組み合わせ、支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・プログラムを通して自己選択や自己決定をする機会を設け、力を育てる支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者や管理者が代表して参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・モニタリング会議や必要な情報があると判断された場合に、関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校のお迎え時に、担任と情報共有を行っている。必要に応じて支援者会議や電話連絡などを行っている。	引き続き、学校や関係機関と連携をとって行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	必要に応じて、情報共有を行い、相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・親の会「まんじん」で定期的に情報を提供していく。	・引き続き、親の会「まんじん」で定期的に情報を提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・センターの地域へ向けた研修へ積極的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・併設する学童保育「あんじな」の児童との交流や活動を行っている。	・引き続き、児童館や公民館の利用、学童との交流を行う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・協議会への参加は行っていないが、協議会から案内のある会議へ、積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・基本的に保護者に事業所へのお迎えをお願いしており、日々の送迎時に直接話す時間を持っている。	・引き続き、保護者面談や送迎時間を利用し、共通理解に取り組む。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・おしゃべりサロン「まんじん」など独自のプログラムを実施し、必要に応じて情報提供を行っている。	引き続き、おしゃべりサロン「まんじん」など独自のプログラムを実施し、必要に応じて情報提供を行っていく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・運営規定、重要事項説明書に基づいて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・サービス利用計画書を元に、こどもや家族の意向を確認しながら作成している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・個別支援計画書を保護者に見せながら説明し、保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・保護者の要望に沿って面談を通じて対応している。	引き続き、面談を継続し、支援を行う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	・毎月、親の会「まんじん」を通して、必要に応じた情報提供や支援を行っている。	・引き続き、親の会「まんじん」を通して、必要に応じた情報提供や支援を行っていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情ボックスを設置している。また、お便り帳でのやりとりやお迎え時の対応等で、保護者からの意見や苦情に迅速に対応し、報告も行う。	・苦情が出た場合は、早急に対応できる体制を整えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・ニューズレターや案内をグループLINEを使い、定期的に発信している。	引き続き、定期的に発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報に関する誓約書を交わし、情報保護に努める。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・ベビーサイン、絵カード、写真などを使い伝達方法を工夫している。保護者への連絡帳やメモで様子を伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・フリーマーケットなど、地域の方を招待するプログラムを企画運営している。	・引き続き、地域の方と交流できる機会を設ける。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・事業所間で周知を行っている。ただし、保護者への周知が不十分なので、今後行っていきたい。	・保護者への周知に取り組む。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・BCP研修や勉強会を開催。年間行事をたて、定期的の実施している。	・引き続き、業務継続計画（BCP）の見直しを行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・利用開始前にアセスメントを行い、家庭や学校での状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・食物アレルギーの利用時はこれまでにないが、研修を通して職員は学びを深めている。	現段階で必要とする利用者はいないが、状況に応じて、連絡体制の整備を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全対策マニュアルを作成し、支援を行っている。	・引き続き、「安全対策マニュアルの見直し」を行っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・事業所間で周知を行っているが保護者への周知が不十分なので、今後行っていきたい。	・保護者への周知に取り組む。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・職員を研修へ積極的に派遣し、社内でも共有する。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・研修を通して学びを深めている。		